東由利村報

No. 113　1966・12・1

発　行
東由利村役場
毎月1日発行
定価1部5円
印　刷
KK本間印刷所

第2回本荘市東由利村
議会議員懇談会

11月21日、この会は東由利村役場で開かれた。

出席者は本荘市東由利村の議会議員の外、木内・田村・佐藤の3県議会議員、本荘市東由利村の首長及び幹部で、次のような問題について懇談した。

もともとこの会は、本荘市と由利郡は一体不離の関係にあり、本荘市の発展なくして由利郡の発展なく、由利郡の繁栄なくして本荘市のそれも望みがたい。両地区に介在する問題の一つでも解決して行くみちを開くために催うされた会で、互いに腹を割って話し合い、県関係の問題は参加県会議員の協力を求めて和やかに熱心に行われた。

協議の要点

▷　**土木問題〜道路整備促進**

①国道107号線は本荘市東由利村を結ぶ唯一の路線であるばかりでなく、太平洋と日本海を結ぶ北奥羽の重要路線でもある。県事業としてよりも国の直轄事業として工事を推進するよう陳情してはどうか

②これまでの舗装は東由利地区を除き集団部落だけとなっているが、早期に全面舗装にせられたい。

③奥ヶ沢より大梁までの区間は非常な難工事であり大工事である。地元は勿論県の努力によって早期に改修されたい

④草子淵のそばのカーブは、川岸の方が低くて危険であるので、降雪前に応急の措置をしなければならぬ。

⑤本荘市が自衛隊に依頼している奥ケ沢三ッ方森線は将来どう延長するのか。

○大台より滝に至る路線の一部を通り、滝の湯の下で現在の道路と結ぶよう、大内村長と話をつけている（市長）

▷　**産業の問題**

農村の人が今後通勤農外収入の獲得に動くすい勢が予想されるが、これに伴う本荘市の発展計画

①工場誘置

現在のところプリマハム工場だけである。現在工場施設を拡充中であるが、将来は年間8万頭を処置する計画である近効農村の生産と結びつけた産業ということで積極的に推進し、豚の増産計画を立てているが、東由利でもぜひ考えてほしい。ただし養豚の将来性について農林省指導の問題もあるが、目下価格安定と引合いが緊急課題で検討中である。

②港わん整備

工業都市の発展は、資材・製品いずれも港わんの果す役割が大きい。導入堤の設置などで現在整備を進めている。

▷　**教育厚生問題**

高校入学者の増加に伴ない、スクールバスの運行問題について、各地の現状問題点など討議し、今後の研究課題とする。

▷　**その他**

①老人ホームの問題

前回にも問題になった老人ホームについて、県では各郡市1個所の目標で進めているが現在は県の財政事情もあって強首に一個所建設されているだけである。採算性の問題からなかなか進展しないのが実情で、今後に残された問題である。

②　バスの問題

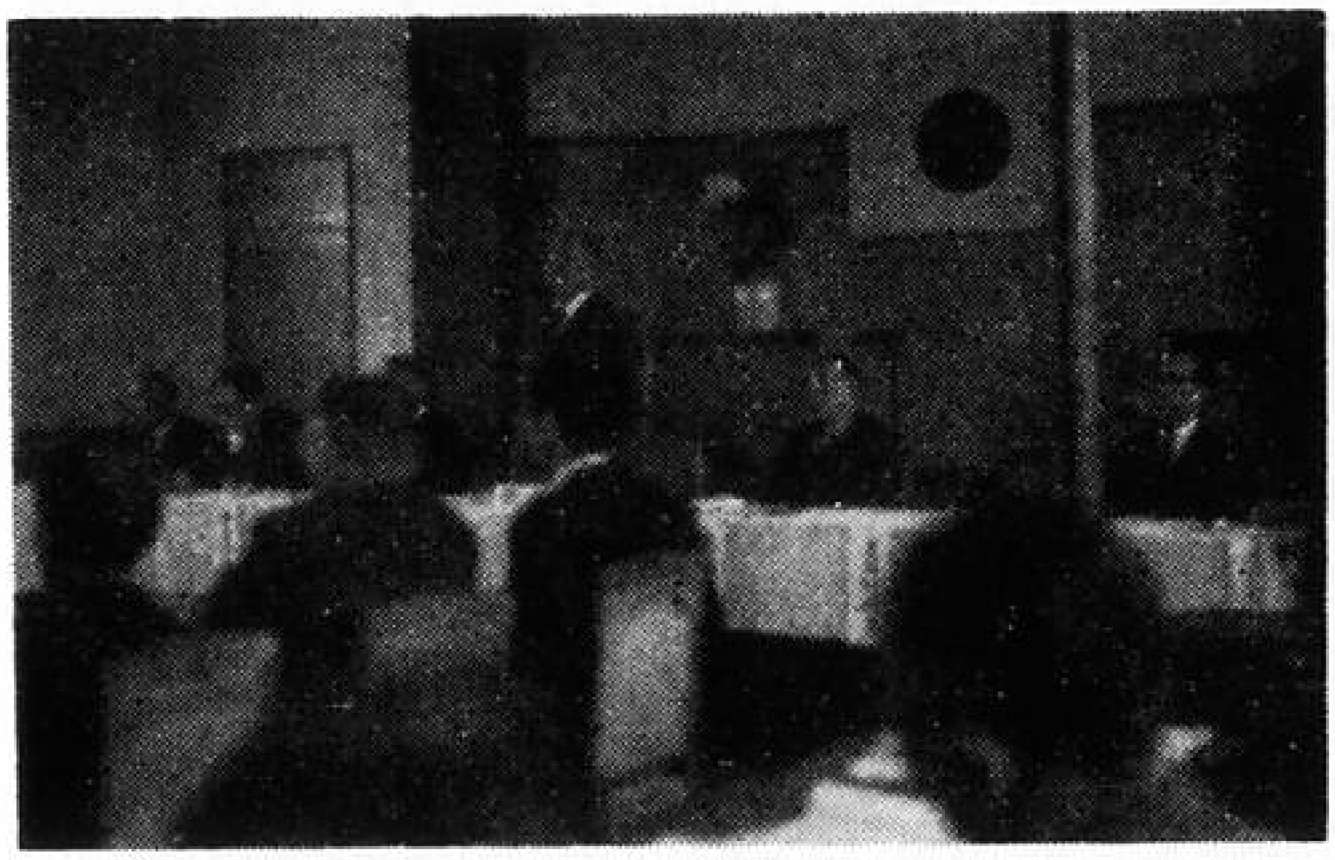
本荘市内大廻りバスの運行も働らきかけたが、沿線の戸口が少いためまだ実現しないが近い将来にぜひ実現したい。

国道107号線の整備促進と同時に定期バスの運行回数増加を積極的に押し進めることにした。

訂　　正

①11月号1面、写真小松大亮氏と畠山三郎氏とは上下逆になっています。

②同一面、農村集団電話のうち○甲込科（戻す）とあるのは聞き誤りで（戻さない）のです。つつしんでおわびして訂正します。



【写真は議員懇談会】

東北治水大会

この大会は、11月8日秋田県農業会館で開催された。

大会には建設次官をはじめ建設省河川関係各係官・秋田県選出衆参両院議員・全国治水同盟会連合会・日本河川協会・秋田県議会議員・秋田県知事以下関係係員、東北各県係員・秋田県市町村長など多数出席の上治水問題各般の討議が行われた。

この会議に於て我が村長は各県一名づつの市町村長代表に選ばれ、

「河川による災害の甚だしいにかかわらず、東北地方は原始河川のままに放置され、秋田県の一級河川は雄物・米代の2川に過ぎない、少くとも東北の一級河川はこの際20本程に増加し、子吉川なども一級河川として、国の責任に於て治水利水対策を実施するよう」強く要望した。

青少年健全育成大会

本年10月31日に結成された秋田県青少年健全育成会議（市町村青少年健全育成協議会間の横の連絡をはかると共に県青少年対策室と協力する）の事業として、11月30日秋田県青少年健全育成大会が県民会館で開かれた。

我が村からはこの会議の運営委員長谷山喜市郎氏を始め8名が出席した。

今回の大会で感じたことは青少年の非行化防止を主な目標として始められたこの運動は、関係者達の長年の努力によってその本来の姿である青少年の「健全育成」という軌道に乗ったこと。青少年をよくするためには周囲のみんながくよならなければならぬということなどであったが、余り対象を拡げすぎるために、青少年不在の運動になって空まわりしないように用心すべきだと思った。

郷土史夜話

②

高館山の矢の根石

大琴の高館山の付近から矢の根石（石で作ったやじり）が沢山出るし、城があったというから昔はここで戦争があったろう、という人があるが、これは大変な誤解である。

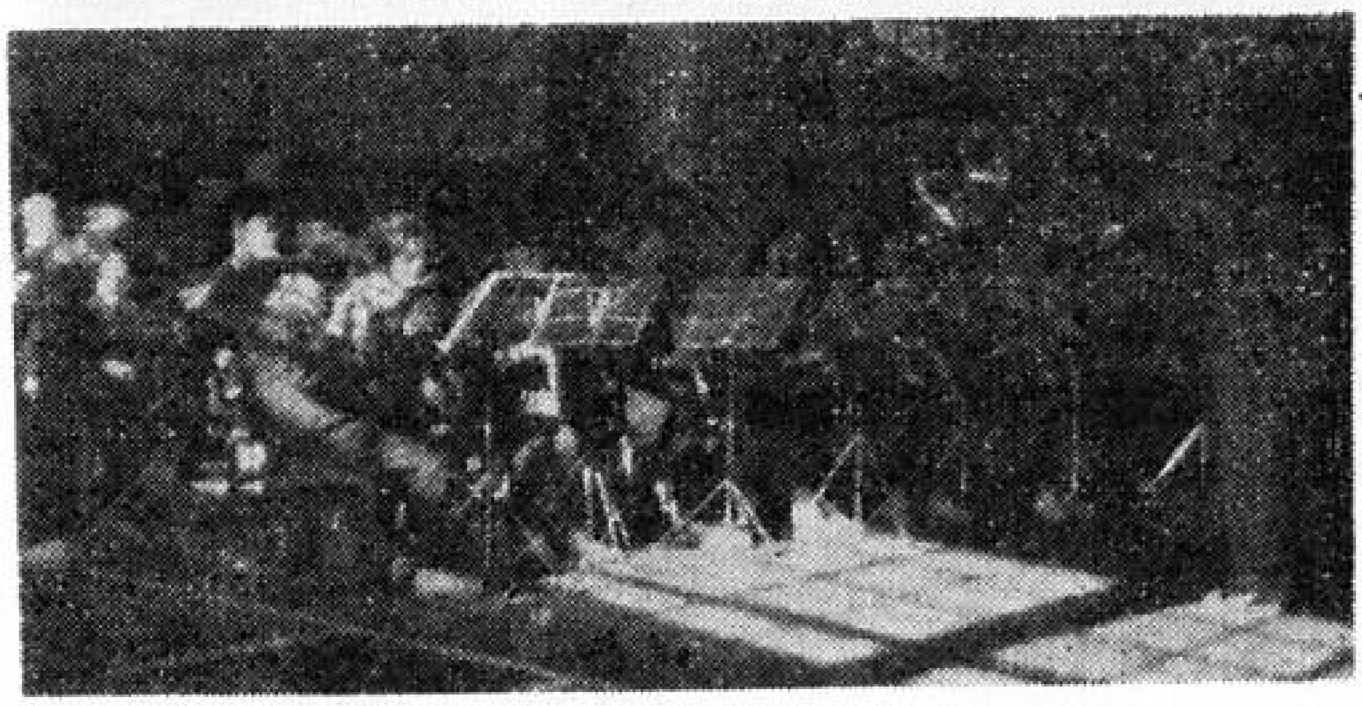
そもそも矢の根石はまだ鉄の文化が入らない原始時代の人々が主に狩獲に使うために作った石器であるし高館山の城（館といった方が正しい）については、それらしい跡と言い伝えはあるが現在のところ、はっきりしない。本当に館があったとしてもそれは鎌倉時代から戦国時代にかけての、いわゆる中世のものと考えられるから、そこで戦争があっても当時はもう矢の根石は使われなかった。

高館山の付近（三十刈といわれる場所）からは矢の根石と一緒に他の石器や土器も出ているので、それは大昔の人々が住んでいたから残されたものであって、高館山の戦争とは何ら関係がない。

ちなみに、それらの石器や土器は縄文式後期から晩期にかけてのものと推定されているので、今より約2千年から3千年前のものである。　（正）

副知事の講演

会場の夫人たち



下中ブラスバンド

村役職員夫人招待会

招待者190名

11月25日東由利村役職員夫人招待会は、議会議員・役場職員・各種組合長・委員長・官共署など、村の第一線に活動している人々の夫人、190名を招いて行なわれた。

村長の謝辞、議会議長の祝辞のあと、研修のため、午前中木内県議会議員の「農村の今後の方向」についての講演あり、昼食中下郷中学校生徒の1時間にわたるブラスバンドの熱演を聞き、午後は松橋副知事（知事の予定のところ所用のため変更）の「県政雑感」と題する多方面からの県政についての講演あり、引つづいて祝宴に移り午後4時近く散会したが、

さすがは第一線に活動する方々の奥さん達だけあって、長時間にわたり一糸乱れぬ態度と講演を傾聴する熱心さとには、この人々の内助あってこそと、誠に力強い感じに打たれた。　知事の寄せられたごあいさつに、

「東由利村の指導的な役割を果しておられる方々の奥さんが一堂に集り、県や村の政治・経済についての研修をなされることは、全県でも初めての試みであると思います。

こうした会合が生れたのも、阿部村長さんを中心にした村民の団結が固く、村を愛する進取の気象がなさしめたものと存じ、敬服いたしております。」という一節があります。

村長もまた「今日の東由利村を作り上げた貴女方の力を高く評価せねばなりません。今後一層のお尽力とご援助を得たいのであります。」と、のべておられますが、

あなた方は、これまでも、そして今後も、十二分にその期待にこたえる力量を持っておられるものと信じます。

教育委員会人事

9月30日任期満了の教育委員長は互選の結果、小林忠一郎氏、職務代行者は阿部寅静氏と決定しました。

東由利村 交通安全対策協議会発足

毎日のように起るひさんな交通事故を防止するため、その対策が考えられていたが、去る11月7日「東由利交通安全対策協議会」が結成され、村民が一丸となって

○交通事故の防止
○交通道徳の高揚と啓発
○交通環境の整備促進
○交通安全運動の推進

につとめることになった。

本会の役員（任期2年）

会長、村長
副会長、長沢毅・小松忠一郎
理事、佐藤与吉郎・大沼一広
　木島正造・佐藤謙吉・小松順之助・阿部マサヱ・佐藤要次・遠藤忠平
監事、小松常太郎・小松竹三郎
事務局、役場総務課

全国定時制高校

陸上競技大会で入賞

11月13日代々木国立競技場に開催された全国定時制高校陸上競技大会に秋田県代表として下郷分校より出場した菊地和子さんは200百mに29秒5の記録で3位に入賞、銅メダルを獲得した。

なお伊東健吾君は砲丸投・リレーでは決勝に進みながら惜敗した。

また、女子巾跳に菊地和子リレーに菊地和子さん高橋幸さんが出場し健闘した。

41年度産米買入数量

心配された今年の稲作もどうにか持ち直したと思っていたところ、10月にはいってからの長雨のために取入れが実に困難をきわめた。

おくれながらもどうにか米にはしたものの、米質が極たんに悪く、下表のように1等米は1俵もない。

昨年はほとんどが1・2等米であったのに、こんなことは今までなかったということだ。しかし雪をほろって稲入れをしている北秋方面などにくらべるとこれでもめぐまれた方であろう。

別表は11月25日現在の調査であるが、11月30日には減額補正の分を補なって、予約数量の62,768俵を 2,300俵も上廻る65,090俵の入庫があった

昭和41年産米種類別等級別買入数量（11月25日現在）

下郷地区＼等級	2	3	4	5	水甲	計
水稲うるち玄米	9,165	22,428	2,168	319	11	34,091
水稲もち玄米		25	2			27
陸稲うるち玄米		5	50	5		60
						34,178

（予約数量35,685）

玉米地区＼等級	2	3	4	5	水甲	水乙	等外上	計
水稲うるち玄米	9,446	14,881	2,292	335	24	6	19	27,003
水稲もち玄米	9	35	18	2	2			66
陸稲うるち玄米			20	16				36
酒米	9							9
								27,114

（予約数量27,083）

東由利村＼等級	2	3	4	5	水甲	水乙	等外上	計
水稲うるち玄米	18,611	37,309	4,460	654	35	6	19	61,094
水稲もち玄米	9	60	20	2	2			93
陸稲うるち玄米		5	70	21				96
酒米	9							9
合計	18,629	37,374	4,550	677	37	6	19	61,292

定期家畜市場

11月11日

子畜検査頭数　101頭

頭数	最高	最低	平均
お58	95.000	57.000	73.581
め35	135.000	68.000	88.414
計93			79.163

総売上　7.362.200円

※市場申込をしていながら、当日引きつけ上場しない者が20名にも及び、子畜検査未済で庭先売買したものと考えられる。

郵便局からお願い

○年賀関係小包は12月15日まで

◇年賀状は12月22日まで「村内あて」「村外あて」に分けてたばねて下さい。

◇小包の荷造りはしっかりと荷札（2枚）は忘れずに

◇あて名は正確に、番地・肩書まで書くように

（差出人の住所氏名も正しくはっきり書くこと。郵便受函表札の掲出）

◇封書などの年賀状は、特別扱い（12月15日から28日までの間に出したものを元旦に配達すること）になりません。

◇学校や役所等で年賀状の年内配達を希望されるところは老方局へお申出下さい。

人権をおかされていませんか

—お互の人権を大切に—

毎年12月10日は、国際運合の総会で「世界人権宣言」が宣明された日で、その記念日となっております。

今年はその第18回目の記念日をむかえることになり、毎年この日の前後にいろいろな行事をもようして、人権尊重の考えを普及し高めることに努力して来ましたが、残念ながらまだこの考えは徹底しているとは云えない現状にあります。

基本人権がおかされないように監視し、侵された時には適切な処置をとる機関として秋田地方法務局に人権擁護課があり、市町村には人権擁護委員が法務大臣から委嘱されております。

この機関がこれまで取扱った人権侵犯事件には

○公務員の職権濫用事件○公害事件即ち騒音・煤煙等による侵犯事件○売春などによる身売事件○部落のつき合いからのけ者にされた事件○法を無視した私的制裁事件○今なお古い考えからした嫁や使用人・年少者や老人等の酷使虐待事件○労働者の不当解雇○借家人の追出し○名与信用などの自由侵犯などの数多くの事件があります。

もし人権がおかされるようなことがありましたら、相談料はもちろんのこと、格別形式も必要としませんから、秋田地方法務局人権擁護課もしくは、同支局（ここでは本荘）又は村の人権擁護委員（巾野・小野広志氏）に申し出て下さい。（法務局人権擁護課）

12月「家庭の日」

12月18日の「家庭の日」の例示を次のように取上げて見ました。

冬休みの計画をたてよう。

○いよいよ2学期もおわり冬休みになります。家族みんなで話し合い、楽しいくらし方を考えましょう。

—子どもは—

自分の毎日のくらし方をどうきめたか、計画をみんなに見てもらいましょう。

- 毎日の生活の時間割の中に学習時間のほか、家族と話し合う時間や楽しみ合う時間も入れましょう。
- お手伝いや身のまわりの整理、せいとんに気をつけましょう。
- 道路ではぜったい遊ばないようにしましょう。
- 寒さに負けないじょうぶな体づくりも考え、病気のある人は休み中になおしましょう。
- 外出の時は行き先・用件・帰りの時刻・同好者などかならず家の人に知らせるよう

—親は—

- 受験勉強している子どもには、家族の協力を得て、よい学習の場を整えてあげましょう。
- 休みの期間は気がゆるみ悪いくせや事故が起りやすいのでよく気をつけよう。
- 道路での遊びをさせないように気をつけましょう。
- 高校生のバイクの無免許運転・二人乗り・スピード違反・バイクの貸し借りなどをしないように。

今年秋の植林計画

今年の秋だけで用意された苗木は、村有林と、森林組合で取扱ったものだけで356,395本・面積120haに及んでいるが、なおこの外に個人で直接買入れたものもある。

こうして村では年次計画によって造林を進めており、個人でも大した熱の入れ方で植林にはげんでいる。何んといっても我が村の 100年の大計は山を育てることが第一だ。直営林・分収林・入合林・私有林は軌道に乗って来たが、広大な共有林は何んの手も加えられずに、宝庫はそのまま放任されているところが多いこれの活用がこれからの大きな問題である。

昭和41年秋季造林調

① 村有林

経営区分	面積	樹種別本数 スギ	アカマツ
直営林	ha 24.80	本 74,400	本
分収林	9.93	27,620	4,500
入合林	3.00	10,500	
計	**37.73**	**112,520**	**4,500**

②森林組合扱い

	スギ	223,715本
	アカマツ	4,700
	カラマツ	11,000
	クロマツ	500
合計	スギ	**336,235**
	アカマツ	**9,200**
	カラマツ	**11,000**
	クロマツ	**500**

第14回珠算検定合格者

1級合格者も出た

秋田県商工連合会の主催する第14回珠算検定は、11月13日老方小学校で行われた。

今回の受験者は総数１24名で、うち合格者は48名、中には中学１年で一級に合格した者もいる。なお次回検定は２月12日（日曜）に行われる。

合格者は次のとおり

1級　長谷山絹　（下中1）
2級　赤川真貴子（老方6）
〃　中津川郁子（〃　6）
3級　千葉由美子（蔵　5）
〃　佐々木ちさ子（宿6）
〃　畑山孝子　（〃　）

4級３人、５級９人、６級２人、７級５人、８級23人

印紙税に注意を！

印紙税のかかる証書や帳簿は種類が多いうえ、課・否の区別が複雑になっていますので、ご注意ねがいます。

年末年始に多く作製される次の証書帳簿には

①商品券・物品引換券・パーテー券・初売券は物品切手として
50円未満のもの…非課税
100円未満のもの…6円
100円をこえるものは100円またはその端数ごとに６円
金高の書いてないもの６円

②帳簿については
１冊１年以内の付込みに対して20円
２年つづけて使用する場合は、第１回の付込みから１年を経過した後の最初の付込みのときに新らたに20円

③判取帳については
通帳と同じ取扱いで 200円

④返品連絡書または仕切書および納品書に朱書したものについては営業に関する受取書として10円の印紙税がそれぞれ課税されます。

おわかりにならないものは、見本をそえて当署間税課までおたづねください。

（本荘税務署）

林業関係 図書寄贈

今回秋田県林業改良普及協会々長笹山茂太郎氏より本村公民館に対し、林業関係の図書10冊の寄贈がありました。

いずれも近代化された林業を進める上に必要な新らしい知識と技術を内容とする貴重な参考書です。

「枝打無用論は無用」などのように、非常に大事なことを面白く、わかりやすく書いてあります。

早速図書閲覧室に備えつけてありますから進んでご活用願います。

第３回養兎品評会

東由利村身障者更生協会主催の第３回養兎品評会は、11月25日羽後交通老方車庫で開催された。出品点数42、非常に優秀なものがあった。由利福祉事務所・役場よりも臨席し声援を受けた。

優等賞　鎌田トキヱ
１等賞　伊東伊　市
２〃　佐藤キヨミ
２〃　遠藤直　志
３〃　８点

籠球大会で玉中優勝

10月23日由利郡中学校籠球大会が行われたが、玉米中学校女子チームは優勝し、カップを授与された。

対戦成績
玉中　29—8　仁賀保中
玉中　36—18　矢島中

また交通事故

親子３人重傷

26日朝８時半頃、高瀬の国道でトラックが運転をあやまり、約15ｍ下の川原の方にころげ落ち、乗っていた老方の小松徳之さんが(49)左足に１カ月の重傷を負った外、小松尚さん（34）長男尚武ちゃん（４）が頭などに３週間のけがをした。

原因は運転手の本荘市中町田仲義勝さんがカーブでハンドルを切りそこねたため一という。これから雪が積ってあぶない季節です。自転車もバイクもよくよく注意しましょう。

お知らせ

12月12日午前10時から公民館と法内婦人会の主催で「指圧療法」の講習会があります会場は新処児童館、講師は大庭千代実氏、参加者は毛布一枚ご持参下さい。